

研究活動報告

2006年6月

凡例

1. この研究活動報告欄は、平成17年4月から平成18年3月までの研究活動について、本学部専任教官が提出した資料に基づき、紀要編集委員会が作成したものである。したがって、資料未提出分については多少の遺漏があり得る。
2. 掲載順序は、本学部における講座順及び名簿順とし、報告内容については、原則として、著書、論文、学会発表の順としてある。
3. 本欄における記載様式は、原則として、以下のとおりである。
 - (1) 著書の場合
著者名：著書名，発行所名，発行年，全頁数。
 - (2) 単行本所収論文の場合
著者名：論文名，書名（編者名，発行所または発行機関名），発行年，掲載頁。
 - (3) 雑誌掲載論文の場合
著者名：論文名，掲載誌名，巻，号，発行年，掲載頁。
 - (4) 学会発表の場合
発表者名：発表題目名，学会（開催年月日，場所）。

人間科学

- 小林 睦：（研究ノート）宮澤賢治における倫理性—農本主義・日蓮主義・決断主義—，『新たな賢治学の構築を目指して「宮澤賢治の文理融合的総合研究」報告書』，2005年，71-78頁。
- 小林 睦：（書評）B. ヴァルデンフェルス『講義：身体現象学—身体という自己—』，現象学年報，第21号，2005年，177-183頁。
- 北村一親：『ロマンス語辞典編纂学における語源辞典の比較に関する基礎的研究』（平成13～15年度日本学術振興会科学研究費補助金研究成果報告書），2004年6月，全430頁。（イタリア語文）
- 北村一親：Origine e storia della lessicografia romanza— I dizionari etimologici—, *Artes Liberales*, Vol. 74 (2004/6), pp. 1-19. (イタリア語文)
- 北村一親：Algunhas consideracións sobre o sistema consonántico da lingua galega, *Artes Liberales*, Vol. 75 (2004/12), pp. 1-18. (ガリシア語文)
- 北村一親：18世紀のアンドレイ・タタリノフ露和語彙集の研究（第1部），アルテス リベラレス（岩手大学人文社会科学部紀要），76号，2005年6月，1-12頁。
- 白倉孝行，松原史卓，高橋伸輔：3次元ハイゼンベルグスピングラスの低温相について，日本物理学会2005年秋季大会（2005年9月19日，同志社大学）。
- 遠藤教昭：オープンソースの e-learning システムによる教育支援について：東北大学歯学雑

- 誌, 24巻, 2号, 2005, 43-51.
- 遠藤教昭, 渡辺明日美, 竹原明秀, 吉田勝一: オープンソースの MapServer, MapLab, p. mapper による WebGIS 教育の試み: 地理情報システム学会講演論文集, 14巻, 1号, 2005, 423-426.
- 遠藤教昭, 渡辺明日美, 竹原明秀, 吉田勝一: オープンソースの MapServer, MapLab, p. mapper による WebGIS 教育の試み: 地理情報システム学会 (2005/10/13-14, 大阪工業大学 [大阪府大阪市])
- 楊 静宏, 五味壮平: 生成速度が人間乱数に与える影響, 日本物理学会2005年秋季大会 (2005年9月19日-22日, 同志社大学)
- 山口 浩, 織田信男, 佐藤正恵: スクールカウンセリング啓蒙活動と研修の重点化, 岩手大学地域貢献特別支援事業実施報告書, 2005年5月, 29-33.
- 山口 浩: バイオフィードバックの効用, 「感情心理学パースペクティブズ」(畑山俊輝 (編集代表), 北大路書房), 2005年, 第7章, Pp. 47-54.
- 山口 浩: 行動理論と臨床心理学・他3項目, 現代のエスプリ別冊「臨床心理学入門事典」(岡堂哲雄 (監修), 至文堂), 2005年, Pp. 33-34, P. 35, P. 36, P. 37.
- 山口 浩: 織田信男, 佐藤正恵, 早坂浩志: ストレス・プロセスにおける人生の意味・目的意識の検討—PIL テストの B・C 分析を通して—, 日本心理臨床学会第24回大会2005年9月7日, 国立京都国際会館.
- 松岡和生: 空想傾向が精神的健康に及ぼす効果—性格特性と日常生活のイメージ経験との相互関連性, 日本イメージ心理学会第6回大会発表論文集, 32-33, 2005年11月, 静岡大学
- Matsuoka, K. Positivs aspects of fantasy proneness: The relationship between subjective well-being and fantasy proneness in Japanese college students. The 1st Multicultural Symposium on Positive Psychology: Canadian, Japanese, and Korean perspectives and research implications. September, 2005, in University of British Columbia, Vancouver, Canada.
- 川原正広, 松岡和生: 日常における失敗傾向と空想傾向・イメージ体験の関連性, 日本イメージ心理学会第6回大会発表論文集, 36-37. 2005年11月, 静岡大学.
- 千葉可央里, 松岡和生: 協同想起における偽りの記憶の形成メカニズムに関する研究, 東北心理学会第55回大会, 2005年8月, いわき明星大学.
- 織田信男: ルールを守り過ぎる子の問題, 児童心理, 金子書房, 2006年2月, 836, 56-60.
- 織田信男: 日記療法の基礎的研究(1): 3種類の日記が感情と思考に及ぼす効果について, 東北心理学会第59回大会発表 (2005年8月27-28日, いわき明星大学)
- Oda, N.: A Study on the Positive and Negative Emotional Effects of Keeping a Daily Diary: Comparisons among three types of diaries. The 1st multicultural symposium on positive psychology. (2005, Sep, UBC).
- 織田信男: 日記療法の基礎的研究(2): 日記の種類と性格特性の関連について: 日本パーソナリティ心理学会第14回大会発表 (2005年11月12-13日, 岩手大学).
- 間 良, 織田信男: 対象喪失におけるプロセス研究—適応的内在化の観点からみる立ち直りの過程—, 東北心理学会第59回大会発表 (2005年8月27-28日, いわき明星大学).
- 山口 浩・織田信男・佐藤正恵: スクールカウンセリング啓蒙活動と研修の重点化, 岩手大学地域貢献特別支援事業実施報告書, 2005年5月, 29-33.

- 横井修一：Ⅱ. プロジェクトの課題と研究の枠組み (11-14頁)
- 横井修一：Ⅳ. 介護保険制度施行後の社会福祉協議会の機能 (34-51頁)
- 横井修一：Ⅴ. 地域福祉における老人クラブの機能 (52-67頁)
- 横井修一：Ⅶ. 岩手県における高齢者の地域福祉の課題 (87-94頁), (『地域レベルの高齢者福祉における地域住民活動の組織化に関する調査研究 第2期』, 地域ケア環境研究会, 2005)
- 横井修一：『青少年意識と行動に関する実態調査結果報告書』, 岩手県少年非行防止対策検討委員会, 2005, 1-103頁
- 横井修一・長谷晃憲：「フリーター」論の現状と課題——文献サーベイから見た調査・研究の動向, 2005, 『アルテス リベラレス (岩手大学人文社会科学部紀要)』76号, 13-37頁
- 横井修一：「課題報告：地方都市の大学生における就業意識の変化」, 東北社会学会第52回大会 (2005年7月30日, 宮城教育大学)

文化科学

- 砂山 稔, 山本昭彦, 秋田淳子ほか編著：『新たな賢治学の構築を目指して—「宮沢賢治の文理融合的総合研究」報告書—』, 岩手大学人文社会科学部宮沢賢治研究会, 2005, p. 87.
- 山本昭彦 (パネラー・司会), 池田雅延, 長野俊一, 山崎冬太：シンポジウム〈小林秀雄と外国の文学・芸術〉, 2005年度「日本比較文学会東北・北海道大会」, 2005年9月10日, 於・岩手大学人文社会科学部.
- 山本昭彦：「注解」(p.525-617, 全集編集部名義), 小林秀雄『ドストエフスキイの生活』(新潮文庫, 2005)のフランス文学, 美術, 音楽部分のフランス文学, 美術, 音楽部分の執筆と監修.
- 山本昭彦：「注解」(p.332-383, 全集編集部名義), 小林秀雄『Xへの手紙・私小説論』(新潮文庫, 2004)のフランス文学, 美術, 音楽部分の執筆と監修.
- 杉浦 直：アメリカ西海岸におけるアジア系エスニック都市空間の構造と機能, 平成14~16年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 2005, 62頁.
- 杉浦 直：文学と地理学—賢治研究の可能性—, 『新たな賢治学の構築を目指して—「宮沢賢治の文理融合的総合研究」報告書—』(砂山 稔, 山本昭彦, 秋田淳子編, 岩手大学人文社会科学部宮沢賢治研究会), 2005, 79~81頁.
- 杉浦 直：エスニシティ生成の諸類型と地理的空間—「エスニシティの地理学」の主題をにらんで—, 東北地理学会 (2005年5月22日, 仙台：仙台市戦災復興記念館)
- 海妻径子：ジョージ・L・モッセ：『男のイメージ, 男性性の創造と近代社会』, (共訳者：細谷実・小玉亮子) 作品社, 2005年4月, 337頁 (主な担当部分7~164頁, 309~337頁).
- 海妻径子：第2章, 対抗文化としての〈反「フェミナチ」〉—日本における男性の周縁化とバックラッシュ, 『ジェンダー・フリー・トラブルーバッシング現象を検証する』(木村涼子編, 白澤社) 2005年12月, 35~53頁 (2005年6月の同名論文を加筆訂正したもの).
- 海妻径子：男性性の再編と権力/折り重なるフェミニゼーション, 『情況』, 第3期通巻52号, 2005年5月, 182~189頁.
- 海妻径子：対抗文化としての〈反「フェミナチ」〉日本における男性の周縁化とバックラッ

- シュ, 『インパクション』, 147号, 200年6月, 56~65頁.
- 海妻径子: <前線/銃後>のモザイク化と再編される男性性の暴力, 『女性学』(日本女性学会学会誌), 13号, 2006年3月, 19~26頁.
- 海妻径子: 「男女共同参画」における「男性にとっての利益」?, 『女性学研究』(大阪府立大学女性学研究センター論集), 2006年3月, 93~102頁.
- 海妻径子: 「前線/銃後」のモザイク化と, 新たな「再生産」論の必要性について, 2005年度日本女性学会大会(2005年6月11日, 横浜国立大学).
- 海妻径子: セッション, 皆兵国民一戦うマスキュリニテイの組織化, 報告2, 男性性構築回路としての「女性の国民化」, 社会思想史学会第30回大会(2005年10月16日, 岡山大学).
- 海妻径子: 男性性構築回路としての『女性の国民化』—さらなる「帝国のフェミニズム」論展開のための試論, 2005年度ジェンダー史学会大会(2005年11月27日, 中央大学).

アジア研究

- 砂山 稔: 太清・太一と桃源・王母—杜甫と道教に関する俯瞰—, 『福井文雅博士古稀記念論集 アジア文化の思想と儀礼』, 2005年6月, 387-405
- 砂山 稔: 『九幽経』小攷, 東方宗教, 第105号, 2005年5月, 20-40
- 砂山 稔: IAHR 世界大会道教パネル報告, 東方宗教, 第106号, 2005年11月, 125-133
- 砂山 稔: 道教の色彩学—中国宗教の非言語コミュニケーション—, 『三浦勲夫先生退職記念論文集』2006年3月, 255-269
- 砂山 稔: 「敦煌学断章—杜甫と道教・人文学・地域貢献—」日本学術会議東北地区会議公開学術講演会 講演 2005年9月2日
- 樋口知志: 川と海の生業, 列島の古代史 ひと・もの・こと 2 暮らしと生業(上原真人, 白石太一郎, 吉川真司, 吉村武彦編, 岩波書店), 2005年, 125—159.
- 樋口知志: 『諸家系図纂』所収の「安藤系図」について—奥六郡安倍氏の祖先系譜に関する一考察, 東北史を読み直す(細井計編, 吉川弘文館), 2006年, 43-78.
- 樋口知志: 2004年の歴史学界—回顧—と展望—古代二(大化前代), 史学雑誌, 第114編第5号, 2005年, 42-45.
- 伊藤博幸, 斎藤利男, 斎藤邦典, 三浦圭介, 佐藤智生, 高橋 学, 八木光則, 小口雅史, 工藤雅樹, 本堂寿一, 樋口知志: <シンポジウム>蝦夷研究会青森大会シンポジウム「北日本古代防御性集落をめぐって」(2005年9月17・18日, ホテルアラスカ).

欧米研究

- 斎藤伸治: 日本人英語学習者の非対格動詞の習得について, アルテス リベラレス(岩手大学人文社会科学部紀要), 第76号, 2005, 39-50.
- 斎藤伸治: 言語とコミュニケーション—ロイ・ハリスの統合的言語論をめぐって—, 言語とコミュニケーション(欧米研究講座編), 2006, 81-96.
- 斎藤伸治: 日英構文比較: 無生物主語構文について(招待講演), 名古屋大学大学院国際開発研究科(2006年2月2日, 名古屋大学国際開発研究科棟8階多目的オーディトリウム).

- 斎藤伸治：日本語と日本文化：無界性について（招待講演），名古屋大学大学院国際開発研究科（2006年2月3日，名古屋大学国際開発研究科棟8階多目的オーディトリウム）。
- 海老澤君夫：文学におけるコミュニケーション，言語とコミュニケーション（欧米研究講座編），2006，231-242。
- 能登恵一：ドイツ語テキスト読解教授法—総合的考察—，言語とコミュニケーション（欧米研究講座編），2006，135-153。
- 大友展也：『新着雑報』（1650年）に記載された記事の副次的な資料についての一考察，言語とコミュニケーション（欧米研究講座編），2006，155-169。
- 横井雅明：Antoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」に見られるコミュニケーションのかたち，言語とコミュニケーション（欧米研究講座），2006，171-179。
- 笹尾道子：賢治とサガレンとイーハトヴ，新たな賢治学の構築を目指して（『宮沢賢治の文理融合的総合研究』報告書），2005，24-27。
- 長野俊一：「ゼロから始めるロシア語（CD付き）」，三修社，2005年8月，208頁。
- 長野俊一：トルストイの反ニヒリズム劇『感染家族』に「女性問題」を読む，言語とコミュニケーション（欧米研究講座編），2006，243-254頁。
- 長野俊一：小林秀雄『ドストエフスキイの生活』について，日本比較文学会／東北・北海道大会（シンポジウム「小林秀雄と外国の文学・芸術」），2005年9月10日，岩手大学。

経済システム

- 斉藤彰一：「古典派経済学の剰余価値率と近代経済学の分配率」（政治経済学・経済史学会）2005年7月10日，磐梯高原リゾート・インぼなり）。
- 斉藤彰一：「リカード価値論における一般的利潤率」（『アルテス リベラレス』第77号，2005年12月，37～50頁）。
- 横山英信：戦後小麦政策と小麦の需給・生産，農業経済研究（日本農業経済学会），第77巻第3号，2005，113-128。
- 横山英信，河相一成，松原豊彦，久野秀二：〔シンポジウム〕こんにちの食糧問題を考える—4つのテーマから，経済（新日本出版社），2005年9月号，130-161。
- 横山英信：宮沢賢治の農学思想形成の社会・経済的背景，新たな賢治学の構築を目指して—「宮沢賢治の文理融合的総合研究」報告書—，岩手大学人文社会科学部宮沢賢治研究会，2005，84-85。
- 横山英信：戦後小麦政策と小麦の需給・生産，日本農業経済学会2005年度大会シンポジウム—食料自給率の変容と展望：資源利用転換の軌跡から—（2005年7月17日，北海道大学）。
- 藤原千沙：福祉と女性労働供給の関係史，社会福祉の歴史（佐口和郎・中川清編，ミネルヴァ書房），2005年，109-143頁。
- Ezawa, A. and Fujiwara, C.: Lone Mothers and Welfare-to-Work Policies in Japan and the United States, *Journal of Sociology and Social Welfare*, Vol. 32, No. 4, 2005, pp. 41-63.
- Fujiwara, C.: Single Parenthood, Paid Work, and Social Class in Contemporary Japan, *Sociology Department Seminars 2005* (2005. 5. 11. The University of Auckland)

法政策

- 丸山 仁：現代社会の変容と「新しい政治」の挑戦，政治変容のパーспекティブ（賀来健輔，丸山仁編，ミネルヴァ書房），2005年10月，1-23.
- 高野 修：「地方公共団体行政権の主体として行政上の義務の履行を求める訴えの適否」アルテス リベラレス，第76号，2005年6月，77頁～86頁.
- 高野 修：「正式公表前の環境影響評価準備書等の公開について」公法判例研究会，2005年，12月17日，東北大学.
- 西牧正義：宮本健蔵，片桐善衛，甲斐好文，今尾 真，鳥谷部茂：「マルシェ物権法・担保物権法〔改訂2版〕」，嵯峨野書院，2005年12月，421頁.
- 西牧正義：小林一俊，村田 彰，比嘉 正，中島 昇，片桐善衛，石口 修，山根聡恵，角田美穂子，中山泰道，花立文子，奥山恭子，森田悦史：「プログラム民法〈第2版〉」，酒井書店，2005年6月，277頁.
- 西牧正義：差押禁止債権を原資とする預金債権の差押え，アルテスリベラレス（岩手大学人文社会科学部紀要）77号，2005年12月，65-76頁.
- 西牧正義：判例研究「入会地の売却代金債権が入会権者らに総会的に帰属するとされた事例」，法律のひろば（ぎょうせい）58巻4号，2005年4月，57-59頁.
- 吉田夏彦：清算結了株式会社における保存帳簿・重要資料の開示，帝塚山法学第11号（伊藤公一先生退職記念号），帝塚山大学法学会，平成17年3月21日，301～333頁
- 内田 浩：結果的加重犯の構造，信山社，2005年7月15日，332頁.
- William B. Cleary：The Law of Double Jeopardy in Contemporary Japan アルテス リベラレス，第76号，2005年6月，71頁-75頁
- William B. Cleary：The Law of Criminal Negligence in Contemporary Japan-Part One アルテス リベラレス，第77号，2005年12月，51頁-64頁

環境科学

- 牧陽之助：「陸水の事典」日本陸水学会編集，(株)講談社サイエンティフィック発行，ISBN 4-06-155221-X，2006年3月，執筆項目計11項目：光独立栄養，化学合成，化学合成独立栄養生物，化学合成従属栄養生物，藻被，藻類マット，バイオマット，バイオレメディエーション，噴湯丘，ドメイン.
- 牧陽之助：「サイエンスビュー 生物総合資料」実教出版，2006年3月，写真提供，87細菌の炭素同化，化学合成細菌（硫黄細菌）p. 186.
- 牧陽之助：北上川河口域におけるベントスの群集および食物網構造の空間変異，松政正俊（岩手医大・教養）・土居秀幸（愛媛大・農）・牧陽之助（岩手大・人社）・溝田智俊（岩手大・農）・菊地永祐（東北大・東北アジア），日本生態学会第53回大会（新潟市）2006年3月.
- 牧陽之助：IT配信による2005年岩手大学人文社会科学部環境科学講座公開講座「1000年社会を目指して 一環境と人間一」「地球生態系の形成 その2」，盛岡，釜石，二戸会場2005年10月.
- 牧陽之助：環境マイスター養成講座，平成17年度紫波町環境マイスター養成講座（紫波町環境

- 課)「水環境」2005年11月
- 遠藤教昭, 渡辺明日美, 竹原明秀, 吉田勝一: オープンソースの MapServer, MapLab, p.mapper による WebGIS 教育の試み, 地理情報システム学会講演論文集, 14号, 2005年, 423-426.
- Endo, N., Di Zhao, Takehara, A. & Miura, O.: Long-term GIS analysis: yashiki-rin area changes in the Isawa fan of Iwate, Japan, Proceedings of the 4th International Symposium on Digital Earth, 2005.
- 竹原明秀: 岩手の絶滅に瀕する植物たち, 岩手県立博物館調査研究報告書, 第20巻, 2006年, 42-48.
- 竹原明秀: シベリア・極東ロシアの植生概況, 科学研究費補助金成果報告書「シベリアにおける最終氷期以降の気候と植生」, 2005年, 25-37.
- 高原光, 池田重人, 内山隆, 酒井英男, 檀原徹, 竹原明秀: 西シベリアから極東ロシアにかけての最終氷期以降の植生変遷, 科学研究費補助金成果報告書「シベリアにおける最終氷期以降の気候と植生」, 2005年, 38-52.
- 竹原明秀: 岩手県胆沢町におけるエグネに対する住民意識, 科学研究費補助金成果報告書「散居村における環境資源としての屋敷林の保存と利用に関する研究」, 2006年, 61-93.
- 竹原明秀: 大森の大谷地(大麻部山湿原) 学術調査報告書, 遠野市文化財調査報告書第1集, 2006年, 1-39.
- Endo, N., Di Zhao, Takehara, A. & Miura, O.: Long-term GIS analysis: yashiki-rin area changes in the Isawa fan of Iwate, Japan, The 4th International Symposium on Digital Earth (2005年5月28-30日, 六本木ヒルズ).
- 竹原明秀: 赤井谷地の植物, 第2回赤井谷地湿原シンポジウム(2005年6月12日, 福島県立博物館).
- 竹原明秀, 遠藤教昭, 平吹喜彦, 三浦 修: 岩手県胆沢扇状地における屋敷林の分布と植生構造, 景観生態学会第15回大会(2005年6月18日, 東京農業大学).
- 村田野人, 竹原明秀: 耕作地に点在する屋敷林の鳥類群集, 日本鳥学会2005年度大会(2005年9月16-19日, 信州大学旭キャンパス).
- 竹原明秀: 西シベリアの森林ステップにおける草原植生, 植生学会第10回大会(2005年10月9日, 広島大学東千田校舎).
- Hirabuki, Y., Araki, Y., Drong, P., Takehara, A., Tsukawaki, S., Suzuki, K., Im, Sockrithy & Chhay, R.: Herbaceous Water-plant vegetation in flooding Lake Tonle Sap, Cambodia, distributional pattern and ecological implications, First International Symposium on Evaluation of Mechanisms Sustaining the Biodiversity in Lake Tonle Sap, Cambodia (2005年12月1日, Phnom Penh, Cambodia).
- Hirabuki, Y., Araki, Y., Takehara, A., Drong, P., Tsukawaki, S., Suzuki, K., Im, Sockrithy & Chhay, R.: Ecological significance of Barringtonia-dominant woodland around Lake Tonle Sap, Cambodia: An evaluation by herbaceous water-plants' distribution, International Conference on Forest Environment in Continental River Basins, with a Focus on the Mekong River (2005年12月7日, Phnom Penh, Cambodia).
- 竹原明秀, 河野英一, 笹田勝寛: 赤井谷地における植生復元を目指した周辺整備と自然再生, 国際湿地再生シンポジウム2006(2006年1月28-29日, 天津プリンスホテル)

- 竹原明秀：赤井谷地における湿原再生地の初期植生，日本生態学会第53回大会（2006年3月25日，新潟コンベンションセンター）。
- 竹原明秀：高原 光，池田重人，Oleg Dirksen, Mikhail Klimin：カムチャツカ半島の森林植生一種組成の特徴について，日本植物学会東北支部第18回大会（2005年12月17日，岩手大学）。
- Kitazume, E.: Metal-Ion Enrichment by Countercurrent Chromatography (edited by J. Cazes) "Encyclopedia of Chromatography, Second Edition" (MARCEL DEKKER), 2005, 1024-1027.
- 北爪英一：高速向流クロマトグラフ，特許登録番号，特許第3756649号，2006年1月。
- 北爪英一：高速向流クロマトグラフ装置およびそれを用いた分析方法，特許公開番号，特開2005-315731，2005年11月。
- Y. Miura, S-E. Takahasi, T. Miura and M. Tsukada: Convergency of a recursive sequence
$$x_{n+1} = \frac{\beta x_{n-1}}{1 + \alpha(x_{n-1} + x_n)}$$
 and its application to a model for competing species, J. Anal. Appl. 3 (2005), 205-222.
- Y. Ishikawa, Y. Miura and Y. Ōnishi: Inequalities for matrices preserving a self-dual cone $M_2(\mathbb{R})^+$, Far East J. Math. Sci. (FJMS) 16 (2005), 63-72.
- Iida, M., Mimura, M. and Ninomiya, H.: A significant relation between cross-diffusion and reaction-diffusion, 京都大学数理解析研究所講究録, 1436, 2005, 167-186.
- Iida, M.: Construction of a solution to a one-dimensional semilinear elliptic system under different growth conditions of respective infinities, 14th MSJ-IRI 2005 "Asymptotic Analysis and Singularity" (2005年7月18~27日，仙台国際センター)。
- 飯田雅人，三村昌泰，二宮広和：For a better understanding of cross-diffusion modelling in biology, 医学数学シンポジウムVI (2005年12月23日，藤田保健衛生大学)。
- 飯田雅人，三村昌泰，二宮広和：交差拡散競争系の反応拡散近似と拡散不安定性，日本数学会2006年度年会 (2006年3月26~29日，中央大学理工学部)。
- R. Tamagaki and T. Takatsuka: Baryonic $3P2$ -Dominant Superfluidity under Combined Pion Condensation with Δ -Mixing, prog. Theor. Phys. Vol. 115, No. 1 (2006) 245-250.
- T. Takatsuka: Pairing Effects between Unlike Fermions; Lambda-Sigma Pairing in Neutron Stars, International Conference on "Recent Challenges in Novel Quantum Systems (NQS2005)", (2006年7月7日，Camerino, Italy); ABSTRACT book, Thu-P26.
- T. Takatsuka: Superfluidity of Λ and Σ -Admixed in Neutron Stars, APCTP-KPS Workshop on Nuclei far from Stability and Their Application (2005年10月20日，韓国，国立全州大学); Bulletin of the Korean Physical Society, Vol. 23, No. 2 (2005) 896.
- 高塚龍之，西崎滋，玉垣良三：ハイペロン混在物質に於ける斥力効果の問題，日本物理学会第61回年次大会 (2006年3月27日，愛媛大学); 日本物理学会講演概要集第61巻第1号第1分冊，p. 84.
- 高塚龍之：ハイペロン混在中性子星が提起する問題，素粒子論研究111巻4号，2005年7月，

- pp. D47-D48.
- 西崎 滋：ハイペロンを含む超新星物質の状態方程式，素粒子論研究111巻4号，2005年7月，pp. D51-D52.
- 西崎 滋，高塚龍之，山本安夫：ハイペロンの混じった熱い中性子星II，日本物理学会第61回年会（愛媛大学）2006年3月27日.
- 相場浩和，松尾正之，西崎 滋，鈴木 徹： ^{208}Pb の巨大四重極共鳴の強度関数のゆらぎ，日本物理学会第61回年会（愛媛大学）2006年3月28日.
- Yamauchi, S., Ueno, M., Koyama, K., Bamba, A.: X-Ray Emission from a Supernova Remnant, G344. 7-0. 1, Observed in the ASCA Galactic Plane Survey, Publ. Astron. Soc. Japan, Vol. 57, 2005, 459-463
- Yamauchi, S.: An Ultrasoft Transient X-ray Source in the Norma Region Discovered with Ginga, Publ. Astron. Soc. Japan, Vol. 57, 2005, 465-469
- Ebisawa, K., Tsujimoto, M., Paizis, A., Hamaguchi, K., Bamba, A., Cutri, R., Kaneda, H., Maeda, Y., Sato, G., Senda, A., Ueno, M., Yamauchi, S., Beckmann, V., Courvoisier, T. J.-L., Dubath, P., Nishihara, E.: Chandra Deep X-Ray Observation of a Typical Galactic Plane Region and Near-Infrared Identification, Astrophys. J., Vol. 635, 2005, 214-242
- 須藤敬輔，北本俊二，山内茂雄：ブラックホール候補星4U1630-47の時間変動解析，日本天文学会秋季年会（2005年10月6-8日，札幌コンベンションセンター）
- 植野 優，山内茂雄，山口弘悦，小山勝二，馬場 彩：超新星残骸156.2+5.7のASCAおよびXMM-Newton衛星によるX線観測，日本天文学会秋季年会（2005年10月6-8日，札幌コンベンションセンター）
- 山内茂雄，海老沢研，村上弘志，高橋忠幸，江副祐一郎，田中靖郎，千田篤史，馬場 彩，小山勝二，深沢泰司，水野恒史，常深 博，高橋弘充，幸村孝由，Suzaku team：すざく衛星による銀河面からのX線放射スペクトル，日本天文学会春季年会（2006年3月27-29日，和歌山大学）
- 笹尾俊明，柘植隆宏：廃棄物広域処理施設の設置計画における住民の選好形成に関する研究，廃棄物学会論文誌，vol. 16, no. 4, 2005, pp. 256-265.
- 笹尾俊明：青森・岩手県境産廃不法投棄現場の環境再生に関する社会経済的評価，環境経済・政策学会年報第10号「環境再生」（東洋経済新報社），2005，pp. 46-59.
- 笹尾俊明：地域社会の理解を得られる環境再生にするために，地域のための環境再生読本—県境廃棄物サイト—（橋本良二・中澤廣編著，地域環境再生研究会），2006，pp. 105-114.
- 笹尾俊明：青森・岩手県境産廃不法投棄現場の環境再生に関する社会経済的評価，廃棄物学会第16回研究発表会（2005年10月31日，仙台国際センター）
- 笹尾俊明：廃棄物経済学の前フロンティア，環境経済・政策学会10周年シンポジウム「環境経済・政策学の前フロンティア」（2005年12月17日，上智大学）
- 開 龍美：ウィルダネスとアメリカ環境主義—自己と場所に関する研究のための思想的序説—，現代アメリカ環境文学におけるエコクリティシズムと「場所の感覚」についての研究（科学研究費補助金研究成果報告書）2006，73-99.
- 開 龍美：レオポルドとアメリカ環境主義の形成，日本アメリカ文学会東北支部例会，2006年3月18日，東北大学.

塚本善弘：アジア途上国農村地域におけるジェンダー平等と日本のNGOによる国際協力—女性の生活環境改善プロジェクトの成果と課題—, アルテス リベラレス (岩手大学人文社会科学部紀要), 第77号, 2005, 77-98.

国際文化学研究会

第9回：2005.10.27 石川明彦「賢治と日時計（明石の日時計を訪ねて）」（第8回宮沢賢治研究会と共同開催）

宮沢賢治研究会

第7回：2005.7.13 「報告書『新たな賢治学の構築を目指して』」合評他

第8回：2005.10.27 石川明彦「賢治と日時計（明石の日時計を訪ねて）」（第9回国際文化学研究会と共同開催）

第9回：2006.2.28 「高橋世織氏を囲んで」

宮沢賢治研究会講演会

第2回：2006.2.28 高橋世織「賢治生誕110年—21世紀への贈り物」（人文社会科学部学術講演会と共同）